

津波災害に備えて、避難の際に必用となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

①津波浸水区域や避難場所を確認しておきましょう！

避難ルートを裏面の地図に記入しましょう！

・沖縄県や本部町役場のホームページからも確認できます。

★沖縄県地図情報システム（津波浸水予測図）

<http://gis.pref.okinawa.jp/pref-okinawa/top/>

★本部町役場ホームページ（まちの防災マップ）

<http://www.town.motobu.okinawa.jp/>



②津波の特徴

出典：リーフレット「津波から命を守るために」気象庁

津波警報・津波注意報

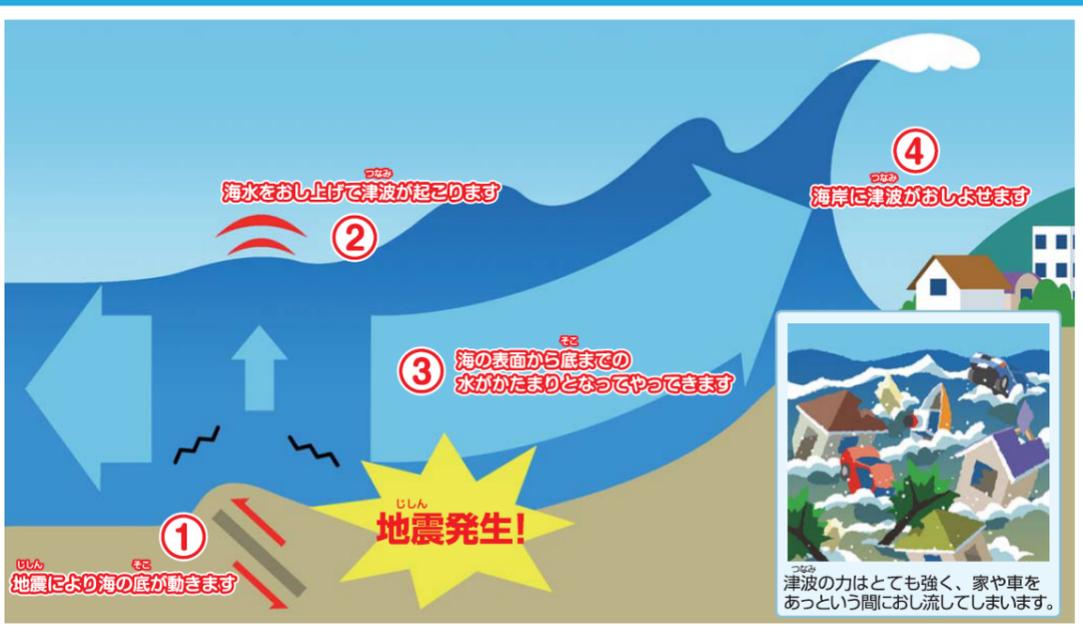
気象庁は、津波による災害の発生が予想される場合は、大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。

大津波警報、津波警報の時は、すぐに高いところへ避難してください。

津波注意報の時は、海や川の中にいる場合は直ちに上がって、海岸や川岸から離れてください。

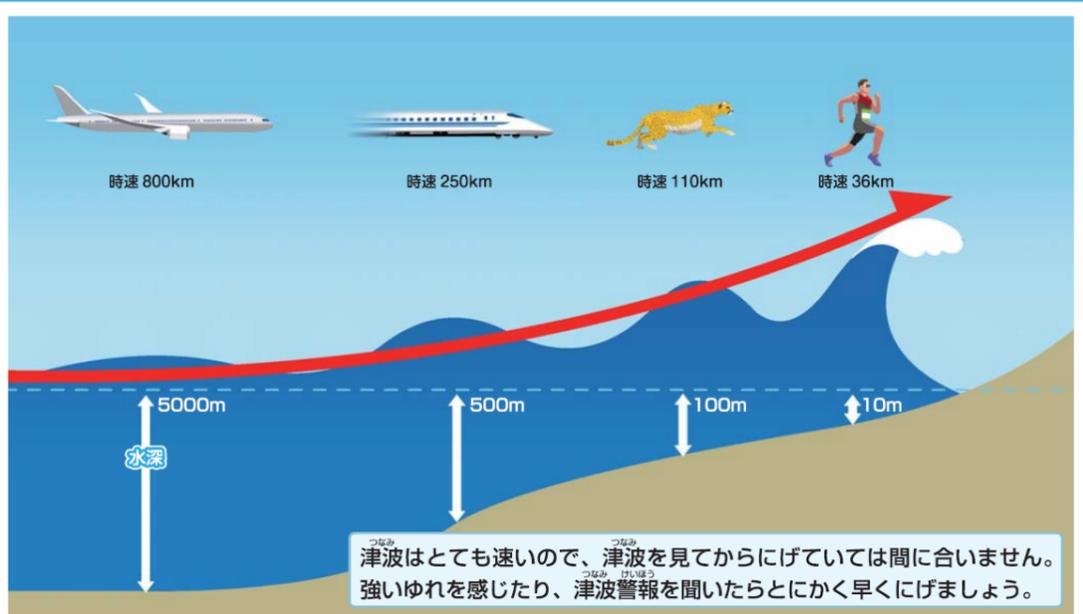
津波が起こるしくみ

地震で海の底が動いて、その上の海水をおし上げることで津波が起こります。



津波の速さ

津波は海の深いところではジェット機ぐらいの速さで広がります。海が浅くなる海岸近くではおそくなるかわりに、波が急に高くなります。



沖縄県の調査では、本部町には、約10メートルの高さの津波が約20分で来ると予想されています。大きなゆれや津波警報等が発表された場合、急いで高台に避難してください。

③津波からの避難方法

出典：リーフレット「津波から命を守るために」気象庁

「より高いところ」を目指してにげる 車は渋滞するので危険です！津波はひくい場所をおそいます。海や川からはなれ、高いところへにげましょう。



津波はくりかえしおそってくるので、津波警報が出ている間は避難をつづける 最初の波より後に来る波が大きいこともあります。



ゆれを感じていなくても、津波警報を見たり聞いたりしたら急いでにげる ゆれが小さくても大きな津波が起こることもあります。

